

国分電機（東京都品川区）は、配電盤や分電盤など電気設備の製造を手がける。茨城工場（茨城県常陸大宮市）は首都圏をはじめ東日本に製品を供給する主力工場で、設計から筐体の板金加工・塗装、組み立てまで一貫生産体制が整う。5月には熱源にガスと電気を融合したハイブリッド型の乾燥炉を塗装工程に新たに導入し、品質向上と製造時間の短縮を実現している。

「乾燥炉内の温度が安定し、焼きムラによる色の不良がゼロになった」。同工場の大曾根幸司工場長は、ハイブリッド型乾燥炉の導入効果について語る。

国分電機 茨城工場

モノづくり現場

生産革新・脱炭素社会への挑戦

5

ガス・電気融合 乾燥炉導入

色の不良ゼロ、時間短縮



ばみは目立ちやすく、不ク（加工対象物）を一定の設置場所によって焼き良品を生む大きな要因になっていた。乾燥炉は塗装後のワークを乾燥させる設備だ。従来の乾燥炉はガス燃料の熱風と電気で炉内を加熱する。最初に中赤外線加熱したワークを効率よく加熱する。その後、熱風による高均一にする。温環境下で塗料を定着させる。すべてのワークに均一に熱を加えることで品質が安定。さらに、処理時間が大幅に短縮した。

「処理時間は従来方式の70分に対し、新方式は20分。この加熱方式を大型部材の乾燥炉に適用した。乾燥炉の新設も、その」

ばみは目立ちやすく、不ク（加工対象物）を一定の設置場所によって焼き良品を生む大きな要因になっていた。乾燥炉は塗装後のワークを乾燥させる設備だ。従来の乾燥炉はガス燃料の熱風と電気で炉内を加熱する。最初に中赤外線加熱したワークを効率よく加熱する。その後、熱風による高均一にする。温環境下で塗料を定着させる。すべてのワークに均一に熱を加えることで品質が安定。さらに、処理時間が大幅に短縮した。

「処理時間は従来方式の70分に対し、新方式は20分。この加熱方式を大型部材の乾燥炉に適用した。乾燥炉の新設も、その」

【事業所概要】▽所在地 茨城県常陸大宮市工業団地12の1、02995・53・151
1▽主要生産品目 制御盤、分電盤など電気設備▽年間CO2排出量 非公表